



古高だより

自主自立 敬愛和協 明朗端正 勤勉誠実

鹿児島県立古仁屋高等学校
〒894-1508
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋 399 番地 1
[TEL]0997-72-0034 [FAX]0997-72-0057
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/koniya/

第66回文化祭

11月1日(日)、第66回文化祭が行われました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のためバザーは実施せず、舞台・展示の2部門に分かれ発表しました。

舞台発表では、2年生・3年生が新型コロナウイルス感染症対策としてステージでの発声は控え、事前に撮影した映像を放映しました。

また、展示発表では、1年生が「巨大アート(モザイクアート)」「Photo spots」を展示しました。

それ以外でもそれぞれが学習・研究した内容を、工夫を凝らして発表しました。

全校生徒98人という小規模の高校ではありますが、生徒一人一人が主役となりそれぞれ考え、工夫し立派な文化祭を創り上げました。



古仁屋小学校における読み聞かせ

11月12日(木)、古仁屋小学校で図書委員の2年生4名が読み聞かせをしました。70名の児童を相手に大型絵本2冊を読み、大盛況でした。一生懸命聴いてくれた小学生の皆さんの姿に、高校生もみんな元気をもらいました。



大会報告

- ・第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会
鹿児島県予選 男子 2回戦敗退
- ・第99回全国高等学校サッカー選手権鹿児島県大会
古仁屋 0-1 川内
- ・第45回鹿児島県高等学校新人ソフトテニス競技大会
男子・女子 団体 1回戦敗退, 個人 男子 2回戦敗退
- ・第68回鹿児島県高等学校新人柔道大会
73kg級 宮山 寛大 準々決勝敗退(ベスト8)

創立90周年記念 第6号

「郷土の高校!古仁屋高校のあゆみ」

鹿児島県立の高校へ!

本校風景(昭和27(1952)年頃)

古仁屋町外四カ村瀬戸内学校組合立古仁屋高等学校から鹿児島県立古仁屋高等学校へ(昭和28(1953))

昭和24(1949)年4月に「古仁屋町外四カ村瀬戸内学校組合立」の新制高等学校として再スタートした古仁屋高校でしたが、当時の奄美群島は米軍の統治下にあり、設置者も「古仁屋町外四カ村瀬戸内学校組合立(古仁屋町に西方村, 実久村, 鎮西村, 宇検村を加えた組織)」から「臨時北部南西諸島政庁立」、「奄美群島政府立」と変わり、昭和28(1953)年12月25日に悲願の日本復帰が成ると、鹿児島県を設置者とする鹿児島県立古仁屋高等学校が誕生しました。戦後、島民の移動手段が船から自動車へと急速に変化し、現在、宇検村と古仁屋を直接結ぶ公共交通機関はなく、宇検村から通学する生徒もいませんが、日本復帰前は宇検村の皆様も伴に古仁屋高校を支えていたことを記すことといたします。(教頭 吉井秀一郎)



※第5号では瀬戸内学校組合立古仁屋高等学校設立が決まった年を昭和25(1950)年と記しましたが、正しくは本号のとおり昭和24(1949)年でした。訂正いたします。

<参考・引用文献> 創立50周年記念誌(1981年 鹿児島県立古仁屋高等学校創立五十周年記念事業実行委員会) 瀬戸内町誌 歴史編(2007年 瀬戸内町誌歴史編編集委員会)

古仁屋高校の服務規律に関するスローガン 「意識して未来へつなげよう」